



## 学びの「旬」を求めて

先日、湯梨浜町特産のクレオパトラメロンが旬を迎え、初出荷されたというニュースを目にしました。JAのホームページを拝見すると、「鮮やかな黄色い果皮に、白くて厚い果肉が特徴で、一口食べると上品な甘さが口いっぱいに広がります。」とのこと。個人的にも毎年この時期が来るのがとても楽しみです。まさに「旬」。今しか味わえない果物です。

少しオーバーかもしれませんが、学校での学びにも「旬」があると思います。例えば、ちょうど始まったばかりのプールでの学習、水泳です。これは今の季節しかできない勉強です。今しかないから、今、集中的に取り組むからこそ力がつく学習です。

このように「今」しかない教材や学習内容、環境にどっぷりと浸り、学びを深めることは、子どもたちにとって最適なことだと思います。極言すれば、子どもたちにとって、毎日が「旬」の学びとなるようにすることが我々教職員の役割かもしれません。

実は、この話を6月3日の全校朝会で児童に話しています。全校児童がプールでの学習、水泳に力いっぱい頑張ってくれることを期待しています。

また、7月2日に5・6年生が参加する町児童水泳大会が行われます。6月に入り大会に向けての放課後水泳練習が始まりました。自分の得意な泳ぎをしっかりと磨き、自信をもって参加してほしいと思います。

これからも学びの「旬」をとらえ、子どもたちがぐんぐん伸びていけるよう、チーム羽合で取り組んでまいります。



## 救急救命・水難救助訓練を実施

水泳シーズンを迎えるにあたり、全ての教職員が参加し、日本赤十字社の中前さん、高浜さんを講師に迎え、救急救命・水難救助訓練を行いました。

前半、体育館で人工呼吸の仕方やAEDの操作方法を学びました。2分間人工呼吸を続けましたがそれだけでも大変です。後半は実際にプールに入り水中からの救助方法を学びました。広いプールで、まず発見することの難しさがあること、さらにはとても1人や2人では対応できないことなど、現場で実際にシミュレーションをしてみないとわからないことがたくさんあり、改めて日ごろの実地での訓練の大切さを痛感しました。

